

教務規定等に関するアンケート

1999年1月16日

(財)神奈川県高等学校教育会館 教育研究所

・中途退学者・原級留置者・長期欠席者・転入学者・編入学者・再入学者

1997年4月1日から98年3月31日の期間において上記に該当する生徒についてお尋ねします。

1. 4月1日現在の学年別男女別の在籍者数を記入して下さい。(回答用紙の表にしたがって記入して下さい。)
2. 中途退学者数及びその理由についてお書き下さい。
3. 学年末までに進級又は卒業が認められなかった者の数とその理由等をお書き下さい。
4. 長期欠席者(50日以上、転学・退学者等も含みます)の理由別内訳をお書き下さい。
5. 転入学者の学年別志願者数・合格者数・転出校についてお書き下さい。
6. 編入学者の学年別志願者数・合格者数・転出校についてお書き下さい。
(5.6.について、転入とは他の学校の相当学年に移籍することで、編入とはこの場合、中途退学した生徒の他校への転学を意味します。)

・出欠席規定について(基本的には選択肢は1つを選んで下さい。)

1. 授業時における遅刻・早退の欠席時数への換算について、該当する項目に をつけて下さい。
ア. 遅刻を欠課に換算する規定がある。(具体的にお書き下さい。)
イ. 規定にはないが、個人で判断して実際に換算しているケースがある。
ウ. 規定にないし、個々にも行われていない。
2. 家庭謹慎の生徒の出欠席の扱いはどうなっていますか。該当する項目に をつけて下さい。
ア. 欠席扱い イ. 出席扱い ウ. 公欠扱い エ. その他(具体的に)
3. 家庭謹慎の生徒の授業の取り扱いはどうなっていますか。該当する項目に をつけて下さい。
ア. 欠席扱い イ. 出席扱い ウ. 公欠扱い
エ. 通知簿は欠課だが、指導要録は出席扱い オ. その他(具体的に)
4. 登校謹慎の生徒の出欠席の扱いはどうなっていますか。該当する項目に をつけて下さい。
ア. HR、授業とも出席扱い イ. HRは出席、授業は公欠扱い
ウ. HR、授業とも欠席扱い エ. その他(具体的に)
5. 上記2.3.4.で欠席・欠課扱いしている学校は、謹慎生徒の年度末の出席日数(時数) の取り扱いはどうなっていますか。該当する項目に をつけて下さい。
ア. 考慮している イ. 考慮していない ウ. その他()
6. 警察・裁判所等の出頭に関する出欠席・授業の取扱いはどうなっていますか。
ア. 考慮している(具体的に) イ. 考慮していない
ウ. 規定がない

2.未修得のおそれのある科目について年度内で判定会議前に再試験等の機会が保障されていますか。

ア．ある。(具体的に) イ．ない。 ウ．その他()

3.修得単位は不認定でも、単位履修が認定された場合、履修したことを指導要録(学習の記録)に記録していますか。

ア．ある。(具体的に) イ．ない。

C. 進級条件(原級留置の基準)

1.進級の条件

ア．全科目の履修・修得が条件であり、たとえ1科目でも不認定科目があれば、進級はできない。

イ．一定程度不認定科目があっても進級させる。具体的にお書きください。

2.判定会議終了後、原級留置の候補生徒対象の当該年度内の追認(再試験・補講等)の機会が保障されていますか。

ア．追認の機会がある。 イ．ない。

3.追認の与えられる範囲等についてお書きください。

科目数 単位数 実施期間 最終判定時期

4.追認をめぐる問題点がありましたら、お書きください。

D. 卒業の条件

1. つぎのどれに該当しますか。

ア．全科目の履修・修得が条件であり、たとえ1科目でも不認定科目があれば、卒業はできない。

イ．一定程度不認定科目があっても卒業させる。具体的にお書きください。

2.卒業判定会議終了後、原級留置の候補生徒対象の追認の機会が保障されていますか。

ア．追認の機会がある。 イ．ない。

3.追認の与えられる範囲等についてお書きください。

科目数 単位数 実施期間 最終判定時期

その他条件

4.a.卒業に必要な最低単位数は何単位ですか。 単位

b.a.で卒業に必要な最低単位数が80単位をこえている場合に、80単位以上修得していても、卒業できない場合がありますか。 ア．ある。 イ．ない。

E. 成績会議について

1.成績会議をめぐる問題点がありましたら、お書きください。

2.1997年度末の卒業判定会議の審議時間はどのくらいでしたか。

ア．1時間以内 イ．1～3時間 ウ．3～5時間 エ．5時間以上

3.1997年度末の進級判定会議の審議時間はどのくらいでしたか。

ア．1時間以内 イ．1～3時間 ウ．3～5時間 エ．5時間以上

